

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

子どもたちを守る4つの緊急提言！

◆子どもたちを守る4つの緊急提言

立憲民主党は「子どもたちを守る4つの緊急提言」を17日に政府に提出、子どもの命と生活を守ります。

1. まず感染を防ぐ
保育士、幼稚園教諭、教職員、学童指導員、部活動指導者等へのワクチン優先接種、感染拡大地域の子どもたちを含めた定期的なPCR検査を！
2. 日常の居場所を守る
休校時は、学校で午前預かりと給食を実施、感染不安等による登校見合せの場合の出席扱い化を！
3. 学びを応援する
子どもたちの集団での生活や授業、課外活動も重要！分散登校やオンライン授業のための学習指導員等を増員！家庭内の通信環境確保の支援で応援を！
4. 保護者を応援する
休校・休園時は、学校等休業助成金・支援金の給付。給付手続支援、受付体制の強化、給付の迅速化などです。政府がやる気ならすぐ可能です。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選7回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長
現在、内閣委員会・原子力問題調査特別委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ 検索

あべともこと共に歩む会後援会
入会のご案内及びボランティア
スタッフ募集中！



◆新型コロナウイルス、出口戦略は検査から！

つい最近、医学誌「ランセット」には、濃厚接触者に中学校を欠席して自宅待機するのと、出席して連続7日、検査を受けるのでは、感染拡大防止効果に差異がないとの研究結果が出ています。この研究資金の出所は英国保健公的介護省です。

感染力の高い変異株でも、出口戦略は早期検査・診断、早期治療。加えて濃厚接触者には隔離ではなく連日の検査が有効なことは、オリパラでも実証済みです。感染しても自宅療養や宿泊療養で医療が提供されなければ、重症化や家庭内感染を招く悪循環が続きます。感染を早く見つけて治療し、重症化を防ぎ、入院患者を減らせれば、医療提供体制にも余裕が生まれます。ワクチンの効力は万能ではありません。科学に基づいた感染症対策が日本にも必要です。

◆水際対策の緩和はとんでもない！



9月22日野党合同国会

野党合同国会 第4回 コロナ対策ヒアリング 立憲民主党
うち、検査指定の宿泊施設での待機を6日や10日と求めた国をはじめ45か国については、その期間を3日で良いとしたもの。

22日に「野党合同国会」が開催され、阿部とも子はそれでは変異株はすり抜けてしまつと指摘。そもそも抗原検査では変異株は分かりません。入国時の検査で陰性なら、3日目に1回だけPCR検査されるだけです。そんなズサンな体制は到底許されません。

衆議院議員 あべともこ事務所 〒251-0025 藤沢市鵜沼石上 1-13-13-1 F
TEL 0466-52-2680 FAX 0466-52-2681 E-mail: inochi@shonanfujisawa.com

立憲民主党神奈川県総支部連合会 〒231-0012 横浜市中区相生町 4-69-2 F TEL 045-226-2377 FAX 045-226-2378